



平成31年4月22日

各位

会社名 グランディハウス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 林 裕朗
 (コード番号: 8999 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理部長 武内 修康
 (TEL. 028-650-7777)

業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、平成30年5月7日付「平成30年3月期決算短信」において公表しました平成31年3月期の通期業績予想(連結・個別)および配当予想を、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成31年3月期 連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,000	2,900	3,000	1,680	58.26
今回発表予想(B)	44,450	3,130	3,280	2,060	71.43
増減額(B-A)	▲3,550	230	280	380	
増減率(%)	▲7.4	7.9	9.3	22.6	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	44,726	2,695	2,796	1,827	63.48

(2) 平成31年3月期 個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,200	1,380	2,380	1,550	53.75
今回発表予想(B)	21,320	1,790	2,850	2,060	71.43
増減額(B-A)	120	410	470	510	
増減率(%)	0.6	29.7	19.7	32.9	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	21,175	1,343	2,360	1,826	63.45

(3) 修正の理由

①個別業績予想

主力事業の新築住宅の販売が概ね計画通り進んだことで売上高は概ね当初予想通りとなる見通しですが、利益面では、新たな原価低減への取組を進めたほか販売面でも粗利水準の確保に向けた取組を強化したことや販売費管理費が当初の見通しを下回ったことなどで、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想を上回る見込となりました。

②連結業績予想

当社グループの新築住宅の受注棟数・販売棟数は、いずれも前期を上回り過去最高となりましたが、連結子会社での販売棟数がシェア拡大を見込んだ当初の計画数には届かなかった影響で、連結売上高は当初予想を下回る見込みとなりました。一方、利益面では、個別業績予想の修正に伴い営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも当初予想を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

	年間配当金(円)	
	期 末	合 計
前 回 予 想	16.00	16.00
今 回 修 正 予 想	18.00	18.00
前期実績(平成30年3月期)	16.00	16.00

(2) 修正の理由

当社は、連結配当性向25%を目標として業績に応じた配当政策を実施することを基本方針としており、1. に記載の連結業績予想の修正に伴い、平成31年3月期の配当予想を修正するものです。

以 上

(注)上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。